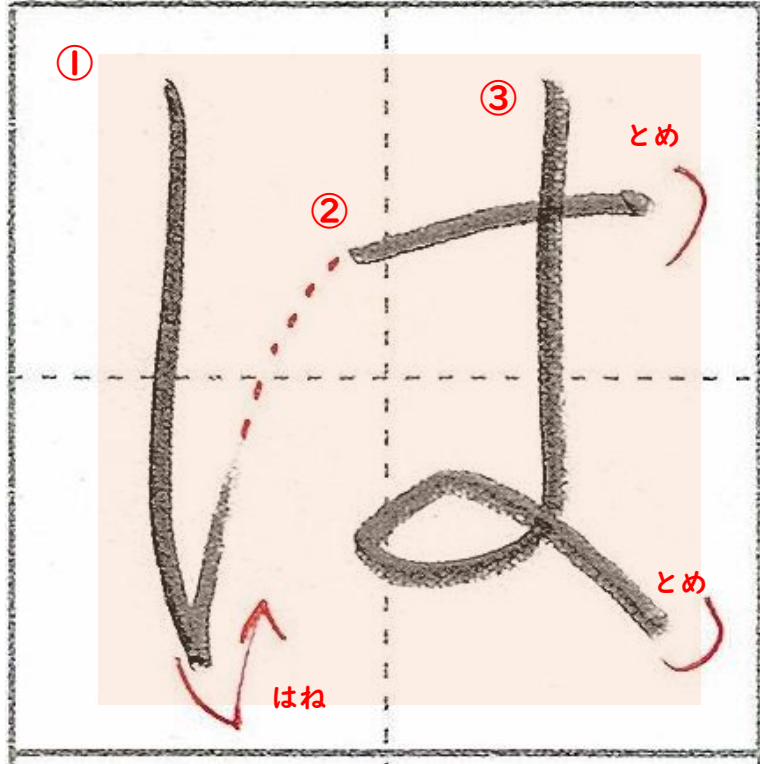
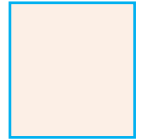


# 「は」のポイント

●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形



せいほうけい 正方形

●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

「波」



●こうならないように注意

◎丸めるところ、まん丸で  
はなく、横長のだ円に。

◎最後のとめ、一画目の  
はねより下にいかない。



ぐ下におかう。

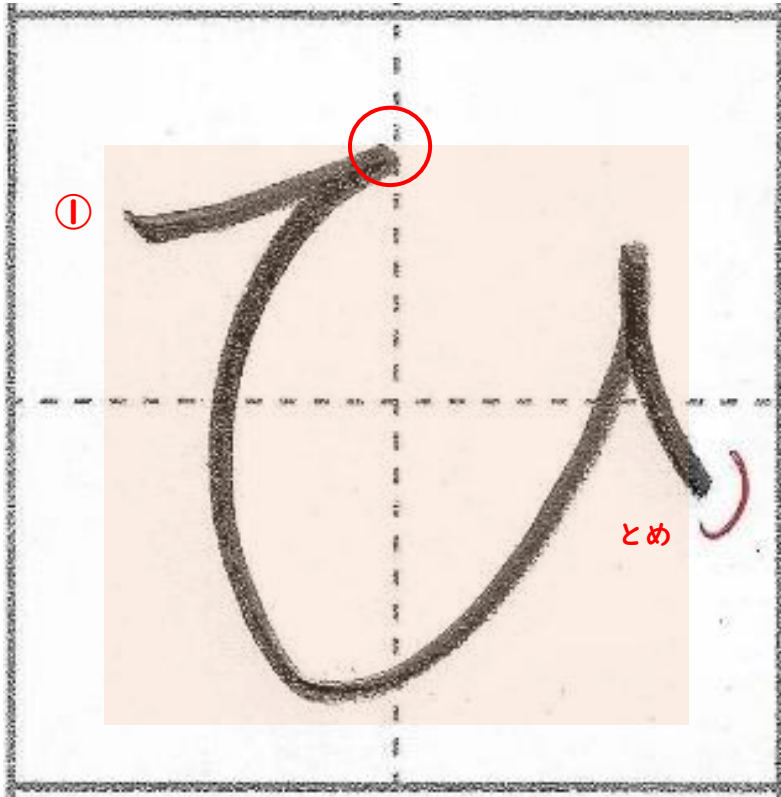
◎3画目、始めはまっす

まん中より右に。

◎3画目は、左右の

# 「ひ」のポイント

●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形

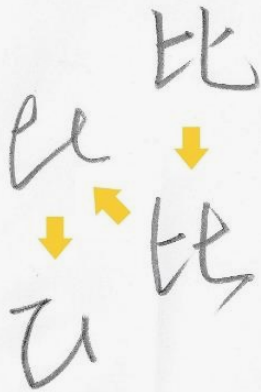


せいほうけい  
正方形

○は、マスの  
<sup>ちゅうしんせん</sup> 中心線とだいた  
い重なるところ。  
ここをめあてに、  
<sup>じ</sup> 字の形 <sup>かたち</sup> をとりま  
しょう。

●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

「比」



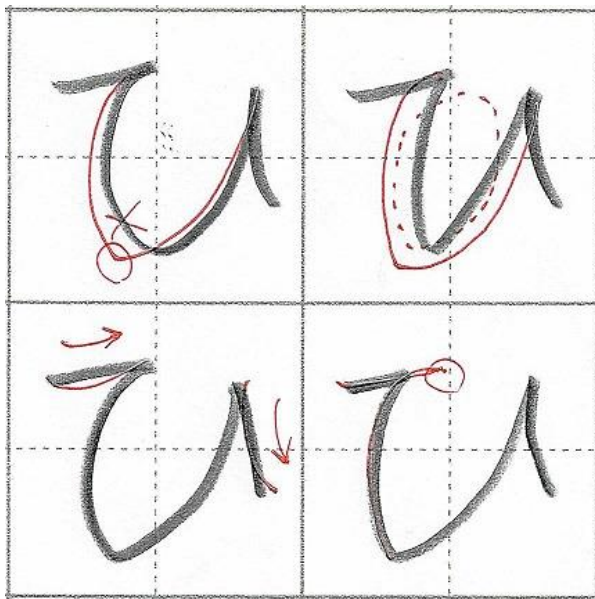
●こうならないように注意

カーブして、  
<sup>みぎうえ</sup> 右上にむかう。

◎<sup>なか</sup> まん  
<sup>すこ</sup> 中より少し  
<sup>ひだり</sup> 左の位置で

◎<sup>はじめ</sup> 始めと  
<sup>おわり</sup> おわりの

<sup>ぶぶん</sup> 部分、  
<sup>すこ</sup> 少しそる。



◎<sup>うちがわ</sup> 内側  
<sup>くうかん</sup> に空間をつくる。

おれまがる。

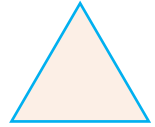
◎<sup>さやう</sup> 左右の  
<sup>なか</sup> まん中で

# 「ふ」のポイント

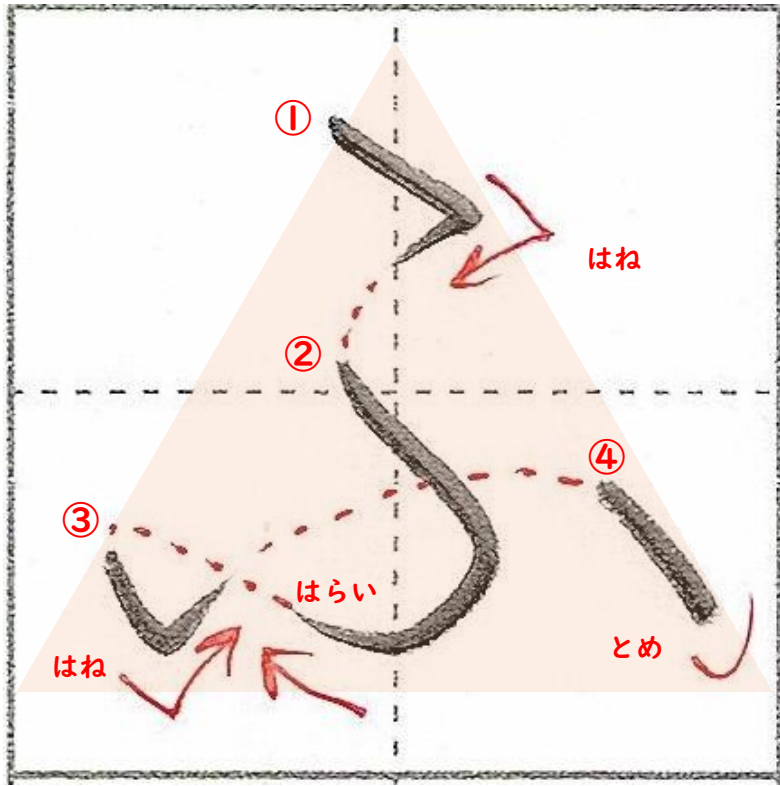
●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形

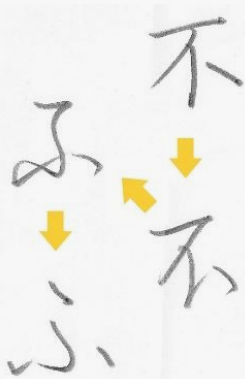


さんかくけい  
三角形



●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

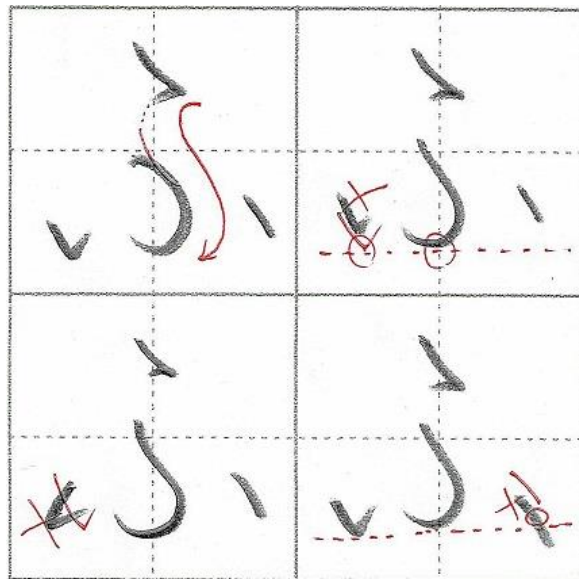
「不」



●こうならないように注意

①一画目のはねと2画目の  
カーブで、S(エス)の字を  
かくように。

③3画目は右下にむ  
かい、はねる。

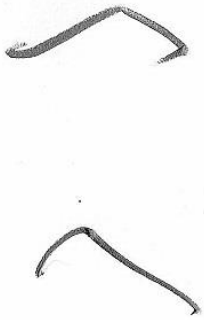


③3画目は、2画目と下  
をそろえる。

④4画目は、2、3  
画目よりやや上に  
うえ。

# 「へ」のポイント

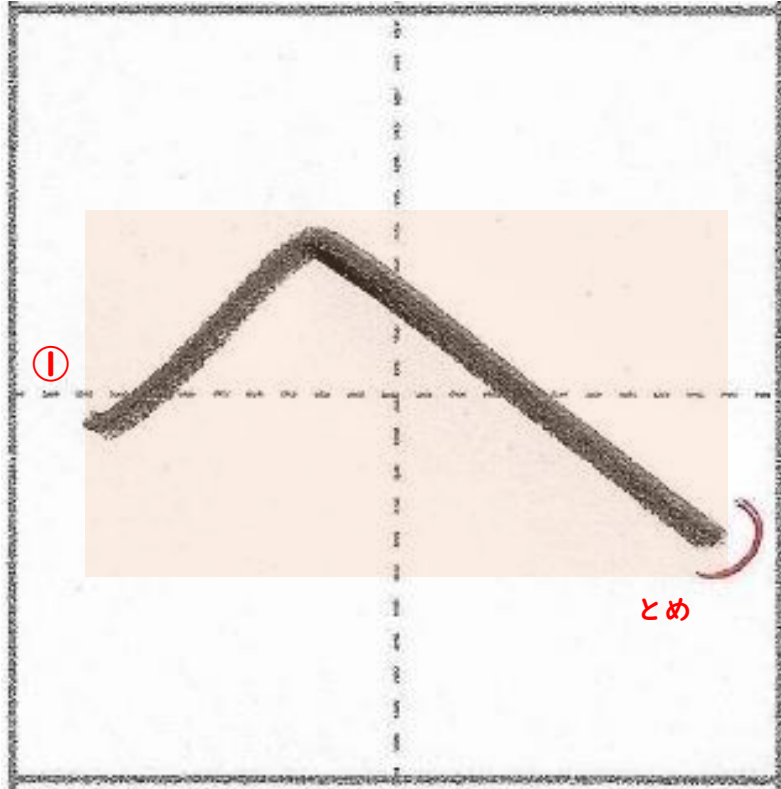
●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形



<sup>よこなが</sup> <sup>ちようほうけい</sup> 横長の長方形



●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

「部」

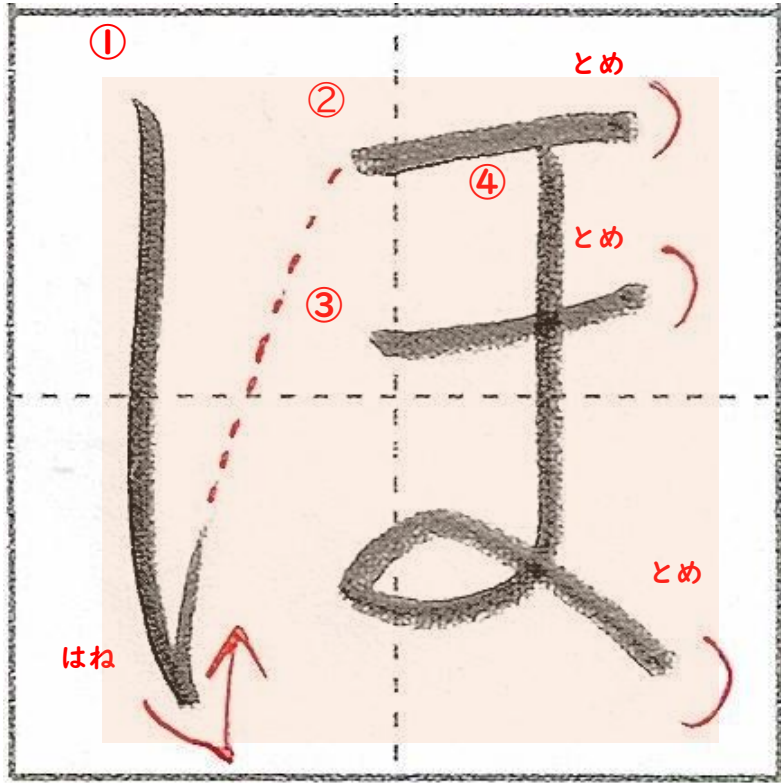


●こうならないように注意

<p>うに。</p> <p>◎<sup>たてなが</sup> 縦長にならないよ</p>		<p>◎<sup>か</sup> <sup>はじ</sup> <sup>した</sup> 書き始めより下に。</p> <p>◎<sup>か</sup> <sup>はじ</sup> <sup>した</sup> からの書き始める。</p>
<p>まん中より左に。</p> <p>◎おれるところは、<sup>さゆう</sup> 左右の</p>		<p>◎<sup>せん</sup> <sup>すこ</sup> <sup>した</sup> だめのところは</p> <p>◎<sup>せん</sup> <sup>すこ</sup> <sup>した</sup> まん中の線の少し下</p>

# 「ほ」のポイント

●くずした字



●<sup>ぜんたいてき</sup> <sup>かたち</sup> 全体的な形



せいほうけい  
正方形

●<sup>もと</sup> <sup>かんじ</sup> 元になった漢字

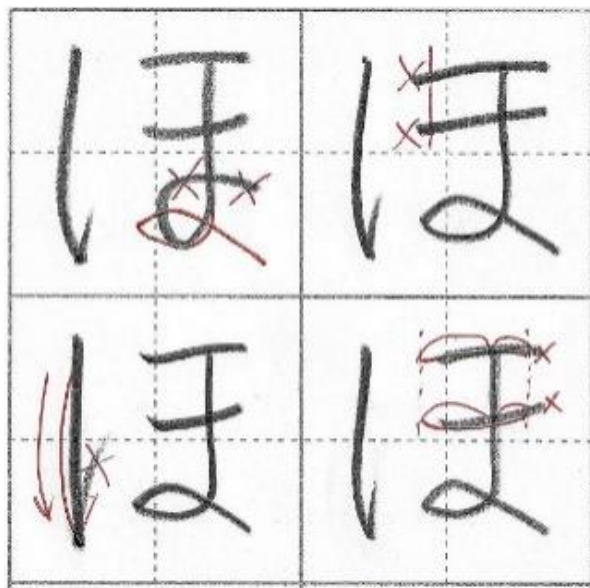
「保」



●こうならないように注意

◎丸めるところ、まん丸ではなく、<sup>よびなが</sup> 横長のだ円に。

◎1画目は少し左にそろえ。



◎2、3画目、<sup>なが</sup> 長くしすぎない。

◎2、3画目の横画の右より、<sup>かた</sup> のところを4画目が通る。